



# 「不発弾らしきもの」の 今後の調査方法について【第2報】

(豊橋東バイパス建設予定地)

## 記者発表資料

### 1. 概要

去る5月28日(金)に国道23号豊橋東バイパス(全長17.6km)の工事現場で、「不発弾らしきもの」が発見されました。【第1報】その後、文献調査や、戦時中をご存じの方への聞き取り等を行ったところ、

当地区が「天伯原陸軍演習場」であったことが判明し、発見された「不発弾らしきもの」は、野砲による「砲弾」の可能性が高いことがわかりました。(今回発見されたものは、火薬未装填。)

このことから、今後もバイパス工事の際に「不発弾らしきもの」が発見される可能性があるため、当地区で掘削作業が伴う工事を行う場合は、工事着手前に詳細に「不発弾らしきもの」を調査し、万全の安全対策をとって工事を行うこととしましたので、お知らせします。

なお、本調査で「不発弾らしきもの」が発見された場合は、速やかに豊橋警察署、豊橋市役所などに連絡させていただきます。

- 調査範囲：豊橋市小島町～寺沢町の豊橋東バイパス建設予定地
- 対象工事：調査範囲のうち、現地盤を掘削する工事
- 対象物：野砲による「不発弾らしきもの」
- 調査方法：磁気探査機及び金属探知機で金属の有無を確認  
(金属の反応があった場合は、試掘を行います。)
- 調査深さ：現地盤から約3m(砲弾の速度から地盤停止深度を推定)

### 2. 資料

- ・別紙-1：天伯原陸軍演習場と23号豊橋東バイパス
- ・別紙-2：「不発弾らしきもの」調査フロー
- ・別紙-3：磁気探査機

3. 配布先 豊橋市記者クラブ

4. 解禁 指定なし

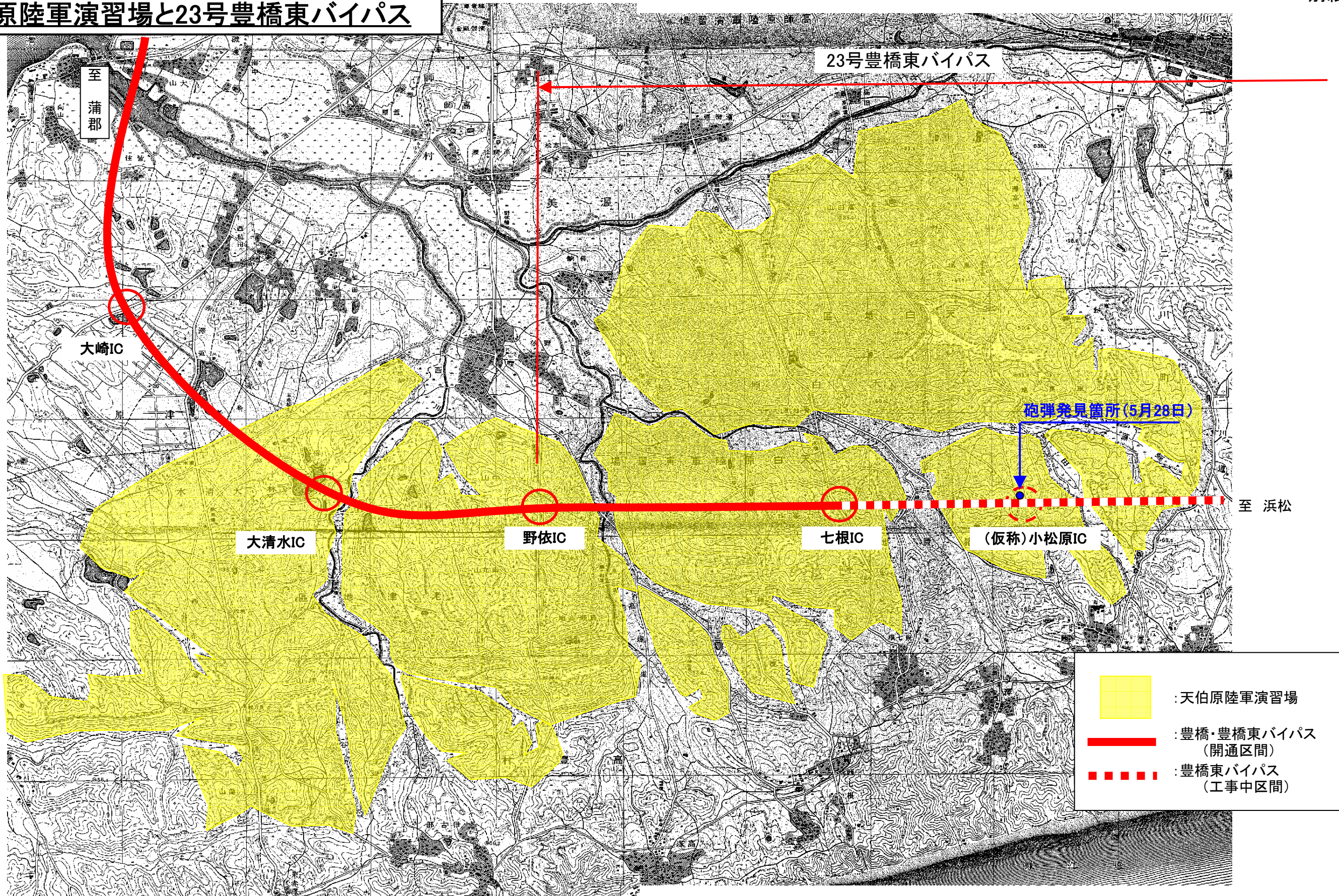
5. 問合せ先 国土交通省中部地方整備局 名四国道事務所

工務課長 まつおか 龍治

TEL 052-823-7951 (ダイヤルイン)

ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/meishi/>

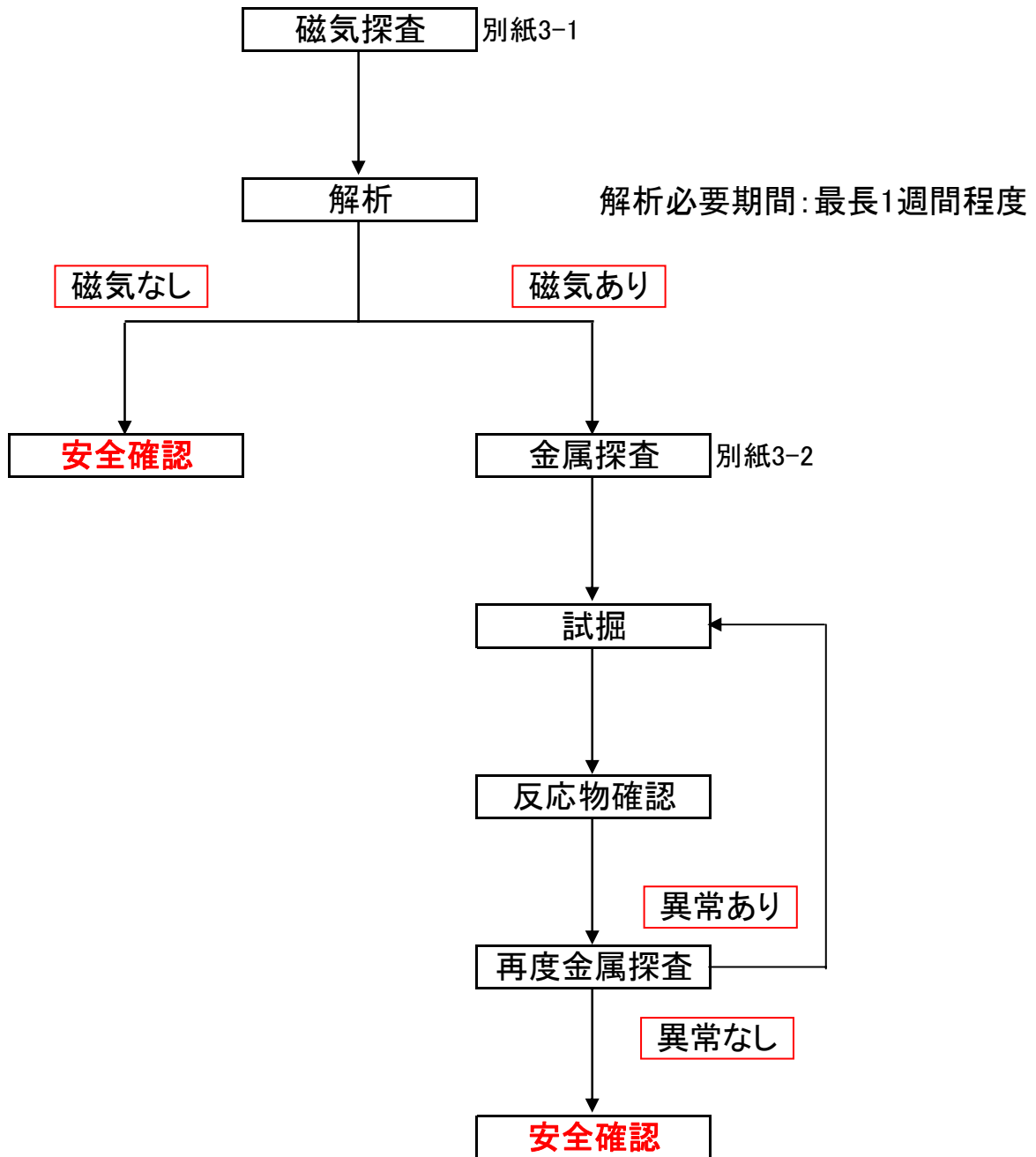
# 天伯原陸軍演習場と23号豊橋東バイパス



注)この図面は、豊橋市美術博物館所蔵の「昭和6年版 豊橋および其近郊2万分の1平面図」をベースに演習場やバイパスを入れて作成したもの

# 砲弾調査フロー

6月中旬～8月下旬予定



【磁気探査機本体】



【磁気探査機による探査状況】



【金属探知機本体】



【金属探知機による探査状況】

